

「施策」総括票

施策展開	3-(9)-イ	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成	
施策	②地域ブランドの形成促進		267頁
対応する 主な課題	<p>○沖縄ブームや健康食品ブームの落ち着きに伴い、県産品の売上げが減少傾向にある中、今後は流行に左右されない県産品の開発や販路拡大、ブランド力強化が課題である。</p> <p>○地域団体商標制度を活用できる人材が乏しいため、制度の普及・啓発に取り組む必要がある。</p>		
関係部等	商工労働部		

I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
	主な取組	決算見込額	推進状況	活動概要
○地域ブランド構築に対する支援				
1	地域イメージ向上・確立支援事業	10,542	順調	<p>○地域の良さ(=地域ブランド)を取り入れた新商品や新サービスなどの創出を促進し、地域産業のさらなる振興に資する活動を支援することを目的に、地域ブランド化に取り組む地域・団体・企業等、4団体に対し、基礎講座やハンズオン支援を各団体向けに2回から4回開催したほか、各団体のブランドコンセプト作り等への支援を実施し、2件の商標登録に繋げることが出来た。(1)</p>

様式2(施策)

II 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	地域団体商標(地域ブランド商標)の出願・登録件数(累計)	出願 38件 登録 15件 (23年)	出願 38件 登録 15件 (24年)	出願 45件 登録 17件	-	-
	状況説明	地域団体商標登録は一定の知名度が登録要件となることから、当面は一般商標の登録を目指す団体が多く、改善まで時間を要するため、当施策により、地域ブランド化に向けた取組を実施し、知名度向上に向けて持続的な展開を行っていく。 ※地域団体商標制度: 地域ブランドを日本全国レベルで保護する制度。地域の事業協同組合や農業協同組合などが「地名」を冠した「地域ブランド」を使用して、その地域である程度有名になった場合には、「地域団体商標」として「商標登録」することができる。実際の登録例として「淡路島玉ねぎ」等がある。				

(2) 参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-

III 内部要因の分析 (Check)

○地域ブランド構築に対する支援
 ・地域ブランドの必要性やブランドコンセプトの重要性に対して、地域や各団体等の理解が充分ではなく、実際にブランド構築のスタートラインに立つまでに時間を要している。

IV 外部環境の分析 (Check)

○地域ブランド構築に対する支援
 ・地域ブランドは、個々の団体等が独自で行っても効果が薄く、また一定の知名度が必要となることから、短期で地域団体商標登録にまで持ち込むことは困難である。

V 施策の推進戦略案 (Action)

○地域ブランド構築に対する支援
 ・これまではブランド構築の手法に向けた支援を中心としていたが、地域ブランドの必要性やブランドコンセプトについての講座等、基礎的な支援に重点を置いて、実施する。
 ・地域ブランドの知名度向上に向けて、ブランド構築に向けた取組が個々の団体に留まらず、地域全体に波及するように各団体等の推進体制の構築状況を確認し、未熟な団体等については体制構築の段階からその必要性・重要性を説明する等、継続性を見据えて、中・長期的な視点での支援策にも取り組む。